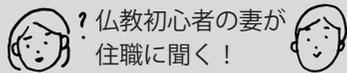


仏教超入門！5



？ 仏教初心者の妻が
住職に聞く！

妻「あのさ、テレビとかで『お墓参りのマナー』とか、『お坊さんに聞く！』とか、特集していることがあるけど、あれは正しいん？」

住「あ～、あれなあ。今まで見たことがある範囲では、9割くらい間違ってる感じやな」

妻「えっ、そうなん？」

住「宗派や地域ごとの違いがめちゃくちゃ大きいのを言わずに、『お寺では～』とか言うからなあ」

妻「そしたら、どうやって正しいか間違ってるか見分けたい？」

住「まずは気軽に、直接お寺に聞いてほしいかも。あと、ああいうのを見る時は、最低限、宗派は確認してほしいな。正覚寺は…？」

妻「浄土真宗の本願寺派！」

住「ピンポン！お西とも言う！」

次回に続く(かも)…！

ご報告

今年のお花まつりも大盛況でした！ゲストの古川麦さんは、懐かしい曲からオリジナル曲まで幅広く演奏してくださり、本堂があたたかな音に包まれました。なかでも私たちが嬉しかったのはフランス語版の「すみれの花咲く頃」です。今回はじめての試みだったミニマーケットもとても好評でした！ご協力くださった皆さま、本当にどうもありがとうございました。



正覚寺日誌

今年のお花まつり
えいたいきょう
今年の永代経は早良区の真正寺のご住職、宗秀融先生をお招きしての開催でした！とっても温い仏さまのお慈悲のご法話をお聞かせいただきました。



さて、今回はお盆です。皆様とお会いできることを今年も楽しみにしています。熱中症に気をつけながら夏を乗り越えていきましょう！

Access

地下鉄「大濠公園駅」より徒歩5分
西鉄バス「港二丁目」より徒歩1分



浄土真宗本願寺派
海見山 正覚寺

〒810-0074
福岡市中央区大手門 3-7-19
Tel 092-751-7074
Mail syougakuji1640@yahoo.co.jp

正覚寺寺報『amrta』vol.8

2019年7月発行

文章・イラスト：賞雅暉哲

デザイン・文章：賞雅裕子



amrta
アムリタ

正覚寺寺報 vol.8

- 住職コラム「お経って・・・？」

- 2019年8-11月正覚寺スケジュール

お経って・・・？

「経」とは古代インドのサンスクリット語で「スートラ」という言葉を中国人が翻訳したものです。「縦糸」という意味です。お釈迦様の、花びらのごとく美しい真理の御言葉を、散逸しないように縦糸で固定したもののことを言います。要するにお釈迦様のお説教を弟子達が記録したもの、ということなのです。

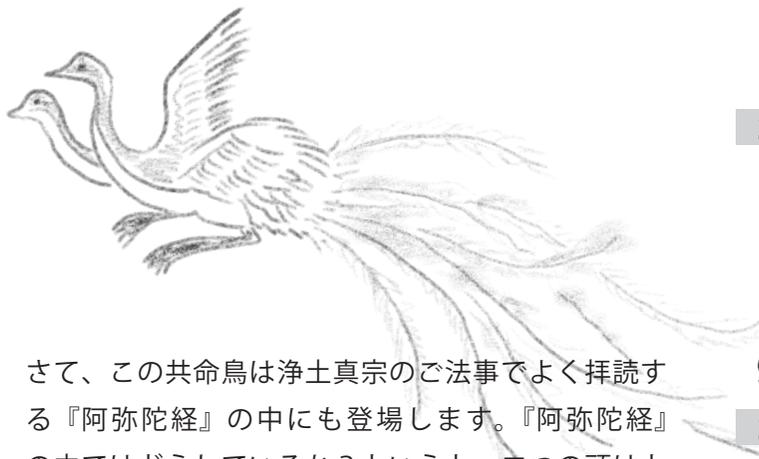
仏教には八万四千とも言われる膨大な經典がありますが、浄土真宗ではそのなかで、『仏説無量寿経』、『仏説観無量寿経』、『仏説阿彌陀経』という三つのお経を大切にします。

大阪のお寺で働いていたときの事です。たまたまお経の解説書を読まれたご門徒さんから「お経ってファンタジーですな。西方極楽世界とか、阿彌陀仏とか、あんなもんよく分からへん。信じられるかいな」と言われたことがあります。

その時は「そうですね。お経っていうのは物語なんです。理屈っぽい話じゃなくてね、説話の形をもって、私たちに真実の悟りの世界を響かせようとするもの、それがお経なんですよ」とお答えしたことでした。

例えばお経の中には「共命鳥」という鳥がでてきます。首が二本あって、胴体が一つ、そんな鳥なんだそうです。二つの頭はそれぞれに意志を持っていて、互いにむちゃくちゃ仲が悪く、いつも喧嘩していたそうです。片方の鳥が、あまりにももう片方のことが好かんので毒を食べさせた。そしたら胴体は一つですから、食

べた方も食べさせた方も死んでしまったという、そんな説話があります。共命鳥は、存在の根源的な関わり合いを忘れて、お互いがお互いを傷つけてあっている、私たち人間の姿なのかもしれません。



さて、この共命鳥は浄土真宗のご法事でよく拝読する『阿彌陀経』の中にも登場します。『阿彌陀経』の中ではどうしているか？というと、二つの頭はともに真実の悟りの世界を高らかに讃め歌っている、と書いてあります。

昔、お世話になった先生がお酒の席で、ベロンベロンに酔っ払いながら私たち学生におっしゃいました。「阿彌陀経をちゃーんと読んでみ？あそこには首が二本あるような鳥が生き生きと飛んでるやろ？ともすればわしらがギョツとしてしまうような鳥がな、あそこでは生き生きとその命を輝かせとるんや。喧嘩もせずな。ああいう世界が浄土やで。ああいうのが真実の世界なんやで。わしらの常識の方が間違つとるんじゃ」。

真実の世界とはどのようなものであるか、お経に素直に聞いてごらん、と先生は教えてくださったんだと思います。
たかまさ ようてつ (賞雅 曜哲)

正覚寺スケジュール

ご門徒のみなさんもそうでない方も！
申し込み不要です。

お寺は毎日
9:00-17:00に開いて
います。ぜひいつ
でも、お気楽にお立
ち寄りください。

8月

13-14日 | 火-水 | 10:30-11:30 お盆法要

正信偈のお勤めと、短い法話があります。どなたもぜひお参りください。例年と日程が異なりますのでご注意ください。

26-28日 | 月-水 | 9:30-12:00 宿題寺子屋

お寺の涼しい部屋で、みんなで集中して宿題を片付けてしまいませんか。出入り自由。
参加費：無料
対象：小学生～大人
(小学校低学年までは要付き添い)

9月

23日 | 月・祝 | 10:30-11:30 秋季彼岸法要

阿彌陀経のお勤めと、短い法話があります。どなたもぜひお参りください。

26日 | 木 | 13:30-15:00 正信偈を読む！

親鸞聖人の正信偈を、住職と少しずつ読み進めます。ぜひお気軽にご参加ください。一度だけの参加も大歓迎！
参加費：200円
持ち物：お念珠・聖典（お持ちであれば）

10月

31日 | 木 | 13:30-15:00 正信偈を読む！

内容は9月26日をご覧ください。

11月

17-18日 | 日-月 | 13:30-15:30 報恩講法要

詳細は次号にて！